

# 資源循環型施設建設に関する説明会 概要

## 【諏訪部地域】

### 1 開催概要

開催日時	令和5年7月10日（月）19：00～20：41	
開催場所	清浄園	
出席者	住 民	12名（諏訪部地域及び下沖振興組合住民11名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員12名
	報道関係	2社

### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	水害対策について	台風19号（令和元年東日本台風）のこともあり、水害対策について関心がある。 台風19号の降雨量は100年に1度程度と1000年に1度程度のどちらに近いと考えているのか。	台風19号時における気象観測所の降雨量と、100年に1度程度または1000年に1度程度の計画降雨量を比較し、100年に1度程度の降雨に近いと考えている。 プラットホームや重要機器を堤防より高い場所に設置するなどの水害対策により、安全安心な施設としていく。
2		100年に1度程度の降雨時の想定浸水深0.5～1mに対する地盤のかさ上げは、高さ1mで十分か。	地盤のかさ上げは、周辺環境への影響を考慮して高さ1mとした。地盤のかさ上げ以外にも、堤防より低い1階部分を鉄筋コンクリート構造とする、防水扉の設置などの浸水対策を講じる。
3		堤防道路からの車両の搬出入を計画しているが、水害等により堤防道路が使用できなくなった場合の対応策を教えてください。	堤防道路が使用できない期間においては、一般車両の出入口から搬出入できるよう施設配置を計画している。

No	項目	質問・意見等	回答
4	環境監視体制について	公害監視データは、住民がいつ、どこからでも確認できるようにしてほしい。	資源循環型施設での掲示以外にも、他の公共施設への電光掲示板の設置や、インターネットでの公開を検討していく。
5	事業方式について	民間事業者に運営を委託する事業方式であれば、住民向け窓口の案内や行政によるチェック体制を構築し、住民に安心感を持たせる監視体制を整えてほしい。	ごみ処理を統括する広域連合の組織を施設内に設置し、民間事業者の管理や住民の窓口対応を行う。また、現在の清浄園や下水道処理場と同様に、地元の皆様と一緒に公害防止を監視する組織を設けてまいりたい。
6	施設の基本概要について	資源循環型施設は何年使用する予定か。	一般的な耐用年数は20年～30年と言われており、県内で最新の「ちくま環境エネルギーセンター」では、35年を想定。当初の20年間運営した時点で詳細調査を行い、判断する想定としている。
7	周辺整備事業について	今のアクアプラザ上田が抱えている問題点は何か。	施設の老朽化や燃料の高騰に伴う維持管理費の増大、年間の利用者数として、夏場とそれ以外のシーズンでの偏りが問題点。
8		<p>アクアプラザ上田の機能移転とのことだが、環境の整ったプールは地域内にいくつもある。</p> <p>これからは高齢化社会であり、全国から評価される高齢者福祉ゾーンを整備してほしい。</p>	今回の説明は一例である。今後アンケート調査やワークショップの開催など、住民の皆様からご意見をいただきながら、地元地域及び上田市全体の振興と発展につながるよう、具体化に向けて、令和6年度当初ごろにはとりまとめてまいりたい。

No	項目	質問・意見等	回答
9	周辺整備事業について	<p>周辺整備予定地近隣には、商業の重要な拠点である卸売団地がある。商用展示会や子どもの運動など多目的の利用ができ、上田市の発展に寄与する体育館を整備してほしい。</p>	<p>避難所としての機能を持たせることや、土地の形状などの課題があり、体育館の整備は難しいのが実情である。</p> <p>上田市としても商工業の発展は重要と考えており、卸売団地の皆様の考えや実情を把握し、市の発展を念頭に置いて周辺整備事業を進めてまいりたい。</p>
10		<p>周辺整備事業の整備の考え方として、子供や若い方々を対象とした施設というのは良いことだと思う。</p> <p>一方、地域の住民生活の課題解決に向けた協議について、今後のスケジュールを教えてください。</p>	<p>冒頭の連合長挨拶にもあったとおり、周辺整備事業については令和6年度当初までに、ある程度のとりまとめを行いたい。</p> <p>地域の住民生活の課題解決についても、同じ令和6年度当初のとりまとめを目途に進めたい。各自治会から御要望を頂き、協議を進めるが、協議できる自治会から進めていく。</p> <p>諏訪部自治会については、すぐに協議を進めることは難しい状況ではあるが、話し合いのテーブルについていただいた段階で、速やかに御要望を頂き、協議を進めたいと考えている。</p>
11		<p>説明会以外にも、住民の意見を受け付ける場を提供してほしい。</p>	<p>昨年度にも実施した意見交換会やワークショップ等、地元の皆様のご意見をお聴きする機会を設けていく。</p>